

東京国立 博物館 ニュース

第700号
展示と催し物
案内

2-3 ● 特別展 細川家の至宝
珠玉の永青文庫コレクション

4-5 ● 博物館でお花見を

6 ● 2010年度 東京国立博物館の予定
特別展・国宝室・主な作品

7 ● 特別展予告 誕生！中国文明

8-11 ● 平常展見どころ案内 2010年4月・5月
国宝 古今和歌集 元永本／特集陳列「海を渡った日本の漆器」ほか

12-13 ● みどりのライオン 教育普及事業

14 ● INFORMATION 15 ● TOPICS

16 ● 2010年4月・5月の展示・催し物

2010 45 月号



【特別展】

細川家の至宝

珠玉の永青文庫コレクション

細川家に代々伝わる美術工芸品の数々と、
鋭い鑑識眼で知られる第十六代当主
護立氏のコレクションから
えりすぐりの至宝を集めた特別展。
その多彩な出品作品の中から
絶対に見逃せない六点を紹介します。

●十五歳の忠興へ

織田信長自筆感状

細川家二代忠興（三斎）はわずか十五歳で織田信長の軍勢のひとりとして大和国片岡城攻めの一番乗りを果たしましたが、この書状はその時の戦功を信長が賞したものです。この時一緒に出された信長の側近堀秀政の添状によって信長自身が筆をしたためたことを確認できます。文字は濃淡の差が激しく、その速い筆の運びからは、気性の激しさや気短さがうかがわれて味わい深さがあります。忠興は以後も武將として活躍しますが、その理想像は織田信長でした。自筆の書状を受けた青年忠興の興奮を皆様も感じていただければ幸いです。（高梨真行）



●関ヶ原を戦った甲冑

黒糸威二枚胴具足 細川忠興（三斎）所用

細川忠興（三斎）が、関ヶ原の合戦で用いた甲冑です。五十回に及ぶ戦陣を経験した忠興は、実戦に基づく実用本位の独特の形式の甲冑を使用しました。この形式は忠興の号などによって三斎流、越中流と称されて、甲冑の一つの模範とされました。細川家ではこの甲冑を「御古例の具足」として尊重し、歴代の藩主もこの形式に基づいた甲冑を制作しています。（池田宏）



黒糸威二枚胴具足 細川忠興（三斎）所用
安土桃山時代・16世紀 永青文庫蔵
細川家で模範となった具足。兜に山鳥の尾を立てる

●金箔で覆われた能装束

唐織 胴箔地撫子蝶文様

細川家に伝わる能装束の特色は、髪能（若い女性）を主人公とする能のシテが着用する唐織や縫箔、長組の優品が多いことです。江戸時代中期、能に熱心であった八代細川重賢（一七二一〜一七五五）があつらえさせたのではないのでしょうか。裂幅いっぱい金糸を通した豪華極まりない唐織は、全身（胴体）が金箔で覆われるという意味から胴箔地と称されます。細川家に伝来した『御次通御能御装束及御小道具帳』の第一に記載された白眉の一領です。（小山弓弦葉）



唐織 胴箔地撫子蝶文様（部分）
江戸時代・18世紀 永青文庫蔵
細川家伝来能装束の中で、
もっとも豪華絢爛な胴箔地の唐織
4月20日（火）～5月9日（日）展示

展覧会 DATA

特別展「細川家の至宝 — 珠玉の永青文庫コレクション —」

4月20日(火)～6月6日(日)
平成館

主催:東京国立博物館、永青文庫、NHK、
NHKプロモーション、朝日新聞社
協賛:トヨタ自動車、日本写真印刷
後援:文化庁
観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、
大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生
900円(700円/600円)
*()内は前売り/20名以上の団体料金。中
学生以下無料

*障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、
障害者手帳などをご提示ください。

お問い合わせ:

ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ:

<http://www.hosokawaten.com/>

巡回予定:

京都国立博物館 2011年10月8日(土)～
11月23日(水・祝)
九州国立博物館 2012年1月1日(日・祝)～
3月4日(日)

関連 事業

記念講演会

① 4月24日(土) 13時30分～15時

「細川家 美と戦いの700年」

永青文庫理事長 細川家18代当主
細川護熙氏

② 5月29日(土) 13時30分～15時

「細川護立と日本の近代美術」

東京文化財研究所 企画情報部文化形成研究室長
塩谷純氏

会場:平成館大講堂

定員:各380名(事前申込制 応募多数の場合は
抽選)

聴講無料(ただし、特別展「細川家の至宝」の観
覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵
便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号
聴講希望講演会の日付(4月24日もしくは5
月29日)、「返信用表面」に郵便番号・住所・
氏名を明記の上、下記までお申込ください。
*1枚のはがきで、1日分の講演会に2名まで申
込可。2名の場合はそれぞれの氏名をお書きく
ださい。

申込先:〒116-0013 日本郵便 荒川支店
私書箱22号「細川家の至宝展 記念講演
会」係

申込締切:① 4月2日(金)、② 5月14日(金)

●「侘び茶の祖」が手にした茶碗 黄天目 珠光天目



黄天目 珠光天目

中国・南宋～元時代・13～14世紀 永青文庫蔵
侘びた趣の深いこの茶碗は、千利休の茶風を忠実に
受け継いだ忠興(三斎)が所持していたのかもしれない

侘び茶の祖である村田珠光(一四二二～一五〇
二)が所持していたという言い伝えにより珠光天
目とよばれます。内箱蓋表の「珠光天目 黄」の墨書
は小堀遠州(一五七九～一六四七)の筆とされます。
釉薬が二重掛けされており、下釉が黄味を帯びて
いることから黄天目といえます。二種類の釉薬が
複雑に交錯しており、趣の深い茶碗です。細川家
とその家臣たちの茶入と茶碗を緻密に写し取った
画帖である『茶入茶碗写真帖』に描かれています。
(今井敦)



●金銀錯狩獵文鏡(部分) 中国・河南省洛陽金村出土
中国・戦国時代・前4～前3世紀 永青文庫蔵
王侯に相当する人物が作らせたと推測されている希代の鏡

鏡の背面を飾る豪華な文様が最大の見所です。三
箇所(うすさきもん)に渦巻文を配し、その合間に馬に乗る人物と豹に
似た動物との闘争文、翼を広げた鳳凰文、動物同士の
闘争文があります。鏡の本体は青銅製ですが、文様
は溝に金銀を嵌めこむ象嵌技法が駆使されています。
細川護立の収集品を代表する作品です。護立はもと
もと古鏡に関心はなかったそうですが、この鏡ばかり
は見染めるやすぐに購入を決めたと振り返っています。
後に「細川ミラー」の名で海外にも知られ、国宝にも指
定された一面こそ、彼が初めて買った鏡だったのです。
(川村佳男)

●世界を驚嘆させた「細川ミラー」 国宝 金銀錯狩獵文鏡

●同時代にも熱い、護立のまなざし 重文「黒き猫」 菱田春草筆

横山大観とともに近代の日本画をリードした菱田
春草が、亡くなる前年の明治四三年(一九一〇)に開
催された第四回文展に発表した作品。黒猫のふんわ
りとした毛並みを感じさせるなど、確かな自然観察
に基づきながらも、柏の葉に金彩を施して装飾的な
表現を取り入れた、春草芸術の集大成ともいえる
名作です。今回は細川護立の収集品として、同じく
春草の代表作「落葉」や横山大観、小林古径の諸作
品、また日本近代洋画や西洋絵画も展示されます。
(塩谷純)

●黒き猫 菱田春草筆
明治43年(1910) 永青文庫蔵
近代日本画をリードした天折の
天才、菱田春草の名作
4月20日(火)～
5月16日(日)展示



●は国宝、○は重要文化財、○は重要美術品を表します。とくに表記のないものは東京国立博物館蔵です。



春爛漫 桜まつり開催!

博物館で お花見を

3月24日(水)～4月11日(日)

この春、東博で大人のお花見はいかがですか。

作品の中に咲く桜も、庭園の桜も満開!

鑑賞ガイド、列品解説、コンサートに花見の茶会。

楽しいイベントも目白押しです。

桜が咲くとたれでも心浮き立つのではないのでしょうか。

この春、当館でもお花見を催します!

花見のメイン会場はなんといっても本館・国宝室。

国宝室では、桜の下で若い男女が舞い踊るさまを描いた「花下遊楽図屏風」（かたぎやくらくずびょうぶ）を展示します。金銀の糸を用いた豪華な衣装と、思い思いに踊る若者たちのポーズ、楽しげな表情に注目してください。十七世紀前半の自由でおおらか、かつ華麗な雰囲気、気分も浮き立つてくるはず。

本館展示室では、このほかにも桜を描いた絵画や工芸作品をご覧いただけます。館内で配布するパンフレットを手に、桜の作品を巡るスタンプラリーにもぜひご参加ください。

さらに、「花下遊楽図屏風」鑑賞ガイドや応挙館でのお茶会、マリンバの音色が美しい「桜コンサート」など、イベントも盛りだくさん。桜を詠んだ俳句を主題とした桜セミナー「桜で一句」を開催し、館内には投句箱を設置し



2



1



3



★鑑賞ガイド 国宝「花下遊楽図屏風」

初めて「花下遊楽図屏風」をご覧になる方のためのやさしい解説です。

3月24日(水)、3月31日(水)、4月7日(水) 14:00～14:30

会場:本館20室 講師:神辺知加(教育講座室研究員)



★列品解説

桜に関連した作品について研究員が解説します。

3月24日(水)「着物に咲く桜」本館9室 小山弓弦葉(特別展室主任研究員) 15:00～15:30

3月31日(水)「器に咲く桜」本館20室 今井敦(東洋室長) 15:00～15:30

4月7日(水)「屏風に咲く桜」本館2室 瀬谷愛(平常展調整室研究員) 15:00～15:30

★生涯学習ボランティアによる桜ガイドツアー 「東博桜めぐり」

3月25日(木)、27日(土)、30日(火)、4月1日(木)、3日(土)、6日(火)、8日(木)、10日(土)、
13日(火)、15日(木) 11:00～、14:30～、各回45分間

集合:本館エントランスホール

★「樹木ツアー」

3月24日(水) 14:30～、3月27日(土)、4月3日(土) 13:30～、各回30分間

集合:本館エントランスホール

★東博会「花見で一句」

庭園の桜や作品の桜についての俳句を募集します。構内に設置してある投句ポスト、Eメール、
はがきで応募できます。

応募期間:3月24日(水)～4月11日(日) 消印有効

申込方法:住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上お送り下さい。

入選作品:東京国立博物館ホームページ、本誌6・7月号にて発表

選者:正木ゆう子氏(桜セミナー「桜で一句」講師)

投句先: Eメール=haiku@tnm.jp

はがき=〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育講座室「花見で一句」係

★桜スタンプラリー

桜に関連する作品を鑑賞しながらスタンプラリーはいかが。本館展示室5か所にスタンプを設置
します。5つ揃ったら、オリジナル缶バッジをプレゼント。

3月24日(水)～4月11日(日)

バッジ引き替え場所: 11:00～16:00 本館20室、16:00～ 本館インフォメーション

★桜コンサート マリンバ アンサンブル

4月2日(金)、4月3日(土)、4月9日(金)、4月10日(土) 14:00～、16:00～ 各回30分程度

会場:法隆寺宝物館エントランスホール

演奏:東京芸術大学音楽学部器楽科准教授 藤本隆文氏、東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻修
士1年 牧野美沙氏、東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業 久米彩音氏

★桜カフェ MOTOYA EXPRESS

庭園で桜を見ながらコーヒーブレイク

3月13日(土)～4月18日(日) 10:00～16:00 庭園開放期間中開店

★上野のれん会

お弁当とお菓子を販売します。

3月24日(水)～4月11日(日) 12:00～17:00 *ただし、3月28日(日)、4月4日(日)を除く

会場:平成館ラウンジ 出店:洋食・黒船亭、あんみつ・みはし、和菓子・上野駅前岡本栄泉総本店、
鳥割烹・守よし、焼き肉・太昌園、とんかつ・上野井泉本店、瓦せんべい・亀井堂、天ぷら・天寿々

★応挙館茶会「花見で一服」お茶菓子は長命寺の桜餅を

3月27日(土)、4月4日(日) 12:00～15:00

会場:庭園内茶室 応挙館(直接お越しください) 定員:各日先着300名 参加費:500円

*雨天の場合 法隆寺宝物館エントランスホール

★切手販売

正門内、前庭にて当館所蔵作品や桜をデザインした切手を販売します。雨天の場合は中止。

博物館でお花見を

3月24日(水)～4月11日(日)

*春の庭園開放は3月13日(土)～4月18日(日) 10:00～16:00です。

観覧料金(平常展料金):一般600円(500円)、大学生400円(300円)

* ()内は20名以上の団体料金。※高校生以下、および満18歳未満と満70歳以上の方は無料です。

入館の際、年齢の分かるものをご提示ください。

*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際、障害者手帳などをご提示ください。

主催:東京国立博物館 協力:上野のれん会 お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600



●花下遊楽図屏風(左隻) 狩野長信筆 安土桃山～江戸時代・17世紀
本館2室 国宝室 3月24日(水)～4月11日(日)展示



て投句形式の句会も開催します。上野のれん会の名店の
お弁当やお菓子の販売コーナーも特設します。
「見て」「味わって」「参加して」、満開の桜の下、皆様
それぞれの花見をお楽しみください。

①色絵桜川文徳利 伊万里 江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
本館4室 3月2日(火)～5月23日(日)展示

②色絵桜樹図透鉢 仁阿弥道八作 江戸時代・19世紀
本館13室 3月16日(火)～6月13日(日)展示

③吉野山時絵小筆筒 梶川作 江戸～明治時代・19世紀
本館8室 2月9日(火)～5月9日(日)展示

④振袖紅縮緬地桜流水模様 江戸時代・19世紀
坂東三津江所用 高木キヨウ氏寄贈
本館9室 3月9日(火)～5月16日(日)展示

2010年度 東京国立博物館の予定

平成館 特別展の予定

4月20日(火)～6月6日(日)

「細川家の至宝―珠玉の永青文庫コレクション―」
主催：東京国立博物館、永青文庫、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

旧熊本藩主・細川家に伝来した文化財を後世に伝えるために、16代細川護立が昭和25(1950)年に設立した永青文庫のコレクションを通して、細川家の歴史と美術、日本の伝統文化に触れるとともに、近代日本を代表する美術コレクター・護立の眼と人物像に迫ります。*詳細は本誌2～3ページをご覧ください

7月6日(火)～9月5日(日)

「誕生！中国文明」

主催：東京国立博物館、読売新聞社、大広、中国河南省文物局

黄河のほとりに位置する河南省は、古くからいくつもの王朝の都が置かれ、中国文明の中心の一つとして重要な役割を果たしてきました。この展覧会では、河南省で出土した数々の名品に焦点をあて中国文明の誕生と発展のあとを振り返ります。*詳細は左ページをご覧ください



●時雨螺鈿鞍 鎌倉時代・13世紀
永青文庫蔵
5月11日(火)～6月6日(日)展示



神獸 春秋時代・前6～前5世紀
浙江衢家嶺9号墓出土

10月8日(金)～12月12日(日)

光明皇后1250年御遠忌記念 特別展

「東大寺大仏―天平の至宝―」

主催：東京国立博物館、華嚴宗大本山東大寺、読売新聞社

聖武天皇と光明皇后が日本と世界の平和を祈念して建立した奈良・東大寺大仏。この展覧会では、大仏殿前の銅造八角燈籠火袋羽目板、大仏開眼会などに使われた伎楽面、金堂鎮壇具、古代の誕生仏としては日本最大の釈迦像、東大寺建立に力を尽くした初代別当・良弁僧正の肖像や、建立を支援した僧形八幡神の像など、東大寺の大仏建立をめぐる作品を通してその精神世界に迫るとともに、天平文化の精華をご覧ください。

また、東大寺中興の祖・重源上人、公慶上人の肖像彫刻の傑作などを通じ、今日まで脈々として続く東大寺文化の重要性をご紹介します。

*盧舎那仏(大仏)は出陳されません

上：●八角燈籠火袋羽目板
奈良時代・8世紀 奈良・東大寺蔵

下：●誕生釈迦立像
奈良時代・8世紀 奈良・東大寺蔵



本館2室 国宝室の予定

3月24日(水)～4月11日(日)

●花下遊楽図屏風 狩野長信筆
安土桃山～江戸時代・17世紀



4月13日(火)～5月30日(日)

●古今和歌集(元永本)

平安時代・12世紀
三井高氏寄贈



7月13日(火)～8月22日(日)

●白氏詩巻 藤原行成筆
平安時代・寛仁2年(1018)



8月24日(火)～10月3日(日)

●鐵鬼草紙 平安～鎌倉時代・
12～13世紀



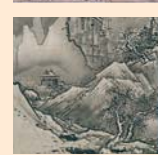
11月16日(火)～12月26日(日)

●遺告 良源筆 平安時代・
天禄3年(972) 京都・廬山寺蔵



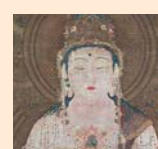
2011年1月2日(日)～2月6日(日)

●秋冬山水図 雪舟等楊筆
室町時代・15世紀末～16世紀初



2011年2月8日(火)～3月21日(月・祝)

●虚空蔵菩薩像
平安時代・12世紀



6月1日(火)～7月11日(日)

●六道給 畜生道、阿修羅道
鎌倉時代・13世紀 滋賀・聖衆來迎寺蔵



10月5日(火)～11月14日(日)

●賢愚経断簡(大聖武)
伝聖武天皇筆 奈良時代・8世紀



2011年3月23日(水)～4月17日(日)

●花下遊楽図屏風 狩野長信筆
安土桃山～江戸時代・17世紀

その他の主な作品の展示予定

本館(日本ギャラリー)

～4月18日(日)、9月14日(火)～12月12日(日) ◎伝源頼朝坐像 鎌倉時代・13～14世紀 11室
～5月23日(日) ◎浜松図真形釜 芦屋 室町時代・15世紀 4室
～4月18日(日) ◎大般若経(和銅五年十一月十五日長屋王願経) 奈良時代・和銅5年(712) 滋賀・太平寺蔵 1室
3月16日(火)～7月4日(日) ◎愛染明王坐像 鎌倉時代・13～14世紀 11室
4月6日(火)～5月16日(日) ◎孔雀立葵図屏風 尾形光琳筆 江戸時代・18世紀 個人蔵 7室
4月20日(火)～5月30日(日) ◎紫式部日記絵巻 鎌倉時代・13世紀 個人蔵 3室
5月11日(火)～6月13日(日) ◎八橋蒔絵螺鈿硯箱 尾形光琳作 江戸時代・18世紀 8室
5月18日(火)～6月27日(日) ◎鷹見泉石像 渡辺華山筆 江戸時代・天保8年(1837) 8室
5月18日(火)～6月27日(日) 雲中富士 横山大観筆 大正時代・20世紀 18室
6月15日(火)～9月12日(日) ◎片輪車蒔絵螺鈿手箱 平安時代・12世紀 13室
6月29日(火)～8月8日(日) ◎夏秋草図屏風 酒井抱一筆 江戸時代・19世紀 8室
6月29日(火)～2011年1月30日(日) ◎老猿 高村光雲作 明治26年(1893) 18室
7月6日(火)～9月12日(日) ◎菩薩立像 鎌倉時代・13世紀 11室
7月13日(火)～8月22日(日) ◎土蜘蛛草紙絵巻 鎌倉時代・13世紀 3室

8月3日(火)～9月5日(日) ◎熱国之巻(朝之巻) 今村紫紅筆 大正3年(1914) 18室
8月10日(火)～9月20日(月・祝) ◎書状 大休正念筆 鎌倉時代・13世紀 4室 松永安左衛門氏寄贈
8月31日(火)～10月24日(日) ◎小袖 白綾地秋草模様 尾形光琳筆 江戸時代・18世紀 10室
9月7日(火)～12月12日(日) ◎褐袖蟹貼付台付鉢 初代宮川香山作 明治14年(1881) 19室
9月14日(火)～12月12日(日) ◎片輪車螺鈿手箱 鎌倉時代・13世紀 13室
9月22日(水)～10月31日(日) ◎寸松庵色紙 伝紀貫之筆 平安時代・11世紀 4室 浅野長武氏寄贈
10月26日(火)～2011年1月30日(日) 日本武尊 青木繁筆 明治39年(1906) 18室

表慶館(アジアギャラリー)

通年 仏頭 アフガニスタン・ハッダ3～5世紀 第8室
通年 ◎透彫冠帽 三国時代・6世紀 第9室 小倉コレクション保存会寄贈
7月27日(火)～2011年1月30日(日) 三彩女子 中国 唐時代・8世紀 第2室 鈴木榮一氏寄贈
8月3日(火)～2011年7月31日(日) 聖魚オクシリンコ像 エジプト第20～21王朝・前12～10世紀 第7室

法隆寺宝物館

通年 ◎灌頂幡 ◎竜首水瓶 ◎摩耶夫人および天人像 飛鳥時代・7世紀
10月26日(火)～11月21日(日) ◎聖徳太子絵伝 秦致真筆 平安時代・延久元年(1069)

誕生！中国文明

中国文明の誕生と発展のあとをたどる

今までにない切り口の中国美術展。

この夏、東博で開幕します！

この夏、中国河南省の出土品によって中国文明の誕生と発展のあとを振り返る特別展「誕生！中国文明」を開催します。

河南省は中国のほぼ中央に位置します。近年の研究によって中国最初の王朝との説が有力となっている夏の中心地は、現在の河南省にありました。以後、商（殷）、西周、後漢、魏（三国時代）、西晋、北魏、北宋などの王朝が河南省に都を置きました。夏が始まった紀元前二〇〇〇年ころから北宋が滅亡した一一四二年まで、河南省

の地域は中国の政治、経済、文化の中心地として栄えました。王朝、工芸技術、文字（漢字）など、中国文明を特徴づけるさまざまな要素が、この河南省で生まれ、発展したのです。

この展覧会は、「王朝の誕生」「技の誕生」「美の誕生」という三つのテーマのもとに、夏から北宋までの時期の青銅器、金銀器、漆器、陶磁器、彫刻、壁画、文字資料など、国家一級文物（日本の国宝に相当）多数を含む約一五〇点の名品によって、中国文明のすばらしさを、あらためてご覧いただきます。（谷豊信）



御者と馬 洛陽市十五工程局
小学出土 唐・8世紀
馬は機嫌が悪いのかな。
生き生きとした表現が見事です



方鼎 鄭州市張寨南街出土
商・前16～前15世紀
お祭りで肉を煮た青銅器。高さ87cm



高さは実に182.2cm!!



七層樓閣 焦作市出土
後漢・2世紀
お墓に納められた陶製の建物模型

特別展「誕生！中国文明」

7月6日(火)～9月5日(日) 平成28

主催：東京国立博物館、読売新聞社、大広、中国河南省文物局 後援：中国大使館 協賛：清水建設

観覧料金：一般 1,500 円(1,300 円/1,200 円)、大学生 1,200 円(1,000 円/900 円)、高校生 900 円(700 円/600 円)

* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際に年齢の分かるものをご提示ください

* 障害者とその介護者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください) * 前売券発売は4月6日(火)を予定

お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600 展覧会ホームページ：http://tanjochina.jp/

巡回予定：九州国立博物館 10月5日(火)～11月28日(日) 奈良国立博物館 2011年4月5日(火)～5月29日(日)

* 「誕生！中国文明」展に関連して連続講座を予定しています。講座の内容および申し込み方法等詳細は本誌次号でお知らせします。

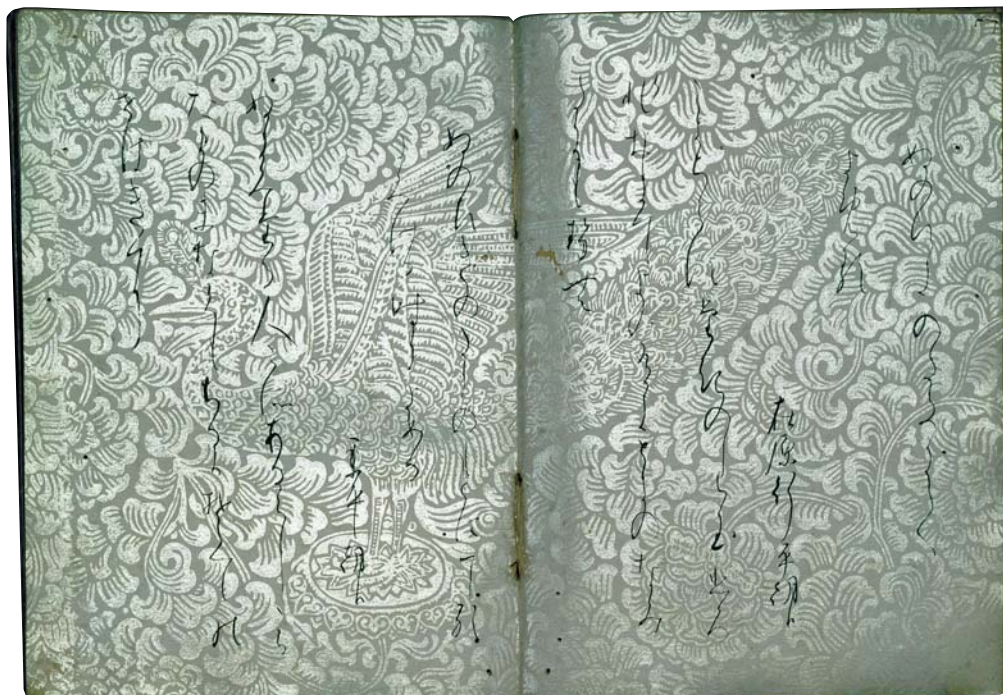
平常展見どころ案内 2010年4月・5月

これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

宮廷のみやびを伝える調度手本

国宝 古今和歌集 元永本

4月13日(火)～5月30日(日) 本館2室 国宝室

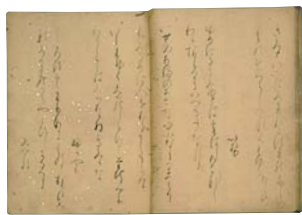


●古今和歌集 元永本 二帖のうち
平安時代・12世紀 三井高氏寄贈 華麗な料紙と巧みな筆跡のコラボレーション

[頁替え情報] 「古今和歌集」(元永本)は毎週異なる頁を展示します。ぜひ何度も足をお運びください。



4月13日(火)～18日(日)



4月20日(火)～25日(日)



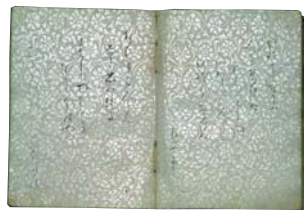
4月27日(火)～5月9日(日)



5月11日(火)～16日(日)



5月18日(火)～23日(日)



5月25日(火)～30日(日)

平安時代における宮廷貴族にとっては、漢詩・和歌、そして書は必須の教養であり、人々の大きな関心事でした。和歌においては、『古今和歌集』は最初の勅撰集として最も重要視され、数多く書写されています。当時、宮廷の儀式や行事、お祝い事に際して、心を尽くした贈り物をするのが通例で、中でも、筆跡の巧みな人の手によって書写されたものは、和歌と書の両方が表現されていることから、極めて尊重されてきました。この「古今和歌集」(元永本)も、こうした宮廷の貴族が身の回りにおいて鑑賞する調度用の手本として作られたものです。上巻の末尾にある「元永三年(一一二〇)七月廿四日」の奥書にちなんで「元永本」の名前で呼ばれています。

この「元永本」は、料紙を五枚ごとに折って紐で綴じた冊子本で、もとの装丁のままで伝えられています。料紙は、紫・赤・緑・黄・茶・白など色とりどりで、濃から淡、淡から濃へと色を連ねるように用いられています。また、料紙の表面は貝殻を潰して微細にした胡粉を塗って唐草・菱文様・亀甲などの型文様を雲母で刷り出したり、摩擦によって文様を表す空摺の技法を用いた日本製の美しい唐紙です。裏面は、切箔・野毛・砂子などの様々な形の金銀の箔を用いて華麗に装飾されています。

この筆者は、これらの料紙に合わせて、豊潤な線や繊細な線を巧みに交用し、変化に富む書風を展開しています。ほかに「本願寺本三十六人家集」(貫之集上人磨集。国宝、西本願寺蔵)「卷子本古今和歌集序」(国宝、大倉集古館蔵)などの同筆遺品を残しており、当時屈指の能書であったことが偲べれます。その筆者としては、三跡の一人として著名な藤原行成の曾孫にあたる定実(一〇七七―一一一九)と推定されています。

この「元永本」は、巧みな筆の流れと華麗な料紙の調和がじつに美しく、まさに宮廷貴族の美意識を反映したものだといえるでしょう。さらに、『古今和歌集』の本文が完全に残っている最も古い写本として、国文学的な価値も極めて高いものです。

(鳥谷弘幸)

注目の特集

本館13室 漆工

ヨーロッパ好みの形と装飾
特集陳列

「海を渡った日本の漆器」

3月24日(水)～6月13日(日)

近世以降、ヨーロッパの上流階級の間には東洋趣味が広く浸透しており、日本の漆器は東洋を象徴する室内装飾調度として、彼らの間で大いに人気を博しました。ただし、ヨーロッパでの用途や彼らの好みに合わせる必要があったから、日本国内で伝統的に用いられてきた漆器とは異なった形や装飾の作品が、創り出されることとなりました。このように輪

出用に制作された漆器類を、輸出漆器とよんでいます。欧州への漆器の輸出は十六世紀末頃、布教にやっつけてきたカソリックの宣教師達の注文によって始まり、以後二十世紀に至るまで、実に数多くの様々な漆器が海外へ渡っています。この度の展示でも、日本の漆器が海を越えて求められ続けたことを、実感していただけるでしょう。

(竹内奈美子)



ろうかくきんすい えいほうせきばこ
樓閣山水時絵宝石箱
江戸時代・17世紀
当時のヨーロッパのジュエリーボックスの形を真似ています



かちょうら でんさいほうつうき
花鳥螺鈿裁縫机
江戸時代・嘉永4年(1851)
彼地で帰りを待つ女性へのお土産として求められました

本館14室 工芸

模倣と創造の歴史を探る
特集陳列

「中国の五彩と日本の初期色絵」

3月30日(火)～5月30日(日)

色絵とは白磁をいったん高温で焼きあげ、上絵具で絵付けを施したのち、再び錦窯に入れて焼き付ける技法で、中国では五彩といわれます。中国の景德鎮民窯では、明末清初の時期に天啓赤絵、色絵祥瑞、南京赤絵など多種多彩な五彩が焼かれ、さかんに輸出されました。江戸時代初期に磁器の生産が始まった九州肥前の有田では、十七世紀中葉に中国から色絵の技術が導入され、中国のさまざまな五彩磁器の様式をもとに豊かな創意が加えられて、独創的な初期色絵が花開き

ました。その中には、かつて加賀の九谷で焼かれたと考えられたことにより、古九谷とよばれた作品も含まれます。中国の五彩と日本の初期色絵を比較することにより、相互の影響関係、そして模倣と創造の不即不離の関係をご覧いただきます。

(今井敦)

下右…五彩蓮池図大皿 景德鎮窯
清時代・17世紀
黒い輪郭線を効果的に用いたすっきりとした作風に、清時代の五彩の特色が表れています

下左…色絵蝶牡丹文大皿 伊万里(古九谷五彩手)
江戸時代・17世紀
日本の初期色絵では上絵具が厚く塗られ、器面が色彩の遊びで埋め尽くされています



本館15室 民族資料

生活に密着した道具類
特集陳列

「アイヌの暮らし」

4月6日(火)～7月4日(日)

アイヌの人びとは暮らしの中で使っていた道具類などに細かな彫刻を施したり、衣服には独特な文様を縫いつけたりしていました。今回の特集陳列では、暮らしの中で使われた食器類や漁撈具、織機具、家や船の

模型などを展示します。写真の作品は、アイヌの人びとが使っていた準構造船の模型です。船は丸木船とその舷側に板を綴じつけた準構造船があり、丸木船は主に河川や海浜用、準構造船は外洋用です。準構造船はイタオマチップと呼ばれ、主に交易に用いられましたが、銚子などを使った海獣猟や漁撈などにも使われました。干し鮭や毛皮などを積み込んで東北地方の港まで行き、帰りには酒や木綿衣、漆器などを積んできたのです。さらに、大陸側の人びととの交易にも活躍しました。

(日高慎)



船模型 北海道アイヌ 19世紀
北海道管理局寄贈
交易や海獣猟・漁撈に使われた外洋航行船の模型

技の記録と保存のために 特集陳列

「伝統工芸―

人間国宝の技と美」

3月9日(火)～6月6日(日)

本年は昭和三十五年(一九五〇)に文化財保護法が制定されてから、ちょうど六〇年になります。この文化財保護法の制定によって、それまでの有形文化財に加えて無形文化財も国によって保護されるものとなりました。無形文化財には演劇や音楽などとともに伝統的な工芸の技術も含まれて

います。

昭和三〇年に重要無形文化財の初めての認定が行なわれてから、漆工、染織、金工、陶磁などのさまざまな伝統工芸の分野で、作家や団体が、いわゆる「人間国宝」として重要無形文化財技術保持者・保持団体として認定されています。この「人間国宝」は制度の上では顕彰的なものではなく、その卓越した技を保存し、後世に継承するためのものです。したがってその認定とともに、それぞれの優れた技について記録保存が行われてきました。平成十二年(二〇〇〇)、こうした記録と作品の一部が文化庁から当館に移管され、以後毎年、その優れた技と美の世界を紹介しています。(加島勝)



蜻蛉金具、蛙金具、はぜ金具
鴨下春明作 昭和63年(1988)
鴨下春明(1915～2001)は平成11年(1999)人間国宝認定。どの金具も生き生きとして愛らしい

平成館 考古展示室

自然と共に生きた

古代人の暮らしを探る

特集陳列

「骨角器

人と動物たちのかかわり」

3月16日(火)～9月12日(日)

動物の骨や角あるいは牙で作られた狩猟具や漁撈具として装身具類を「骨角器」と呼んでいます。こうした骨角器は、人と動物たちのかかわりのなかで作られた道具です。それ故、骨角器の研究からは、当時の自然環境や動物たちの生態系もみえてきます。また、丹念に作られた製品の一つひとつには、自然を畏れ敬い、自然とともに

に逞しく生きた人々の魂が宿っているかのようです。当館における縄文時代から弥生時代にかけての骨角器のコレクションは、その量とともに、質の高さから各方面より古くから注目されてきました。今回、その優れたコレクションの一部を展示し、当時の人々の生業の実態に迫るとともに、彼らの精神性ならびに人と動物たちのかかわりについても考えてみたいと思います。

(井上洋二)



骨角器 縄文時代(後)晩期 前二〇〇〇年～前四〇〇〇年頃
茨城県上高津貝塚ほか出土 丹念に細工された漁撈の道具と装身具

小袖の修理をみてみよう

平成館企画展示室

文化財保護法制定60周年記念事業 特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」

3月16日(火)～5月9日(日)

今回展示する修理作品のなかから小袖について紹介します。

黒い綾子地に金や赤、白の糸で華やかな模様は、茶人小堀遠州(一五七九～一六四七)が好んだ綾子からデザインされたもので、当時の錦絵にも描かれて人気を博しました。しかし、ところどころに糸のほつれや擦れによる損傷

があったうえ、仮仕立て、つまり袖口や裾が断ち切れたままの状態が今日まで伝わり、寄贈された作品であったため、これまで安全に展示することができませんでした。今回の修理では、綿を入れ、小袖本来の仕立てにとのえしました。生まれ変わった小袖、ぜひ展示室でご堪能ください。(三笠景子)



小袖黒綾子地遠州模様
江戸時代・19世紀 野口眞造氏寄贈
綿を全体に入れて、本来の姿にもどします。修理がすんでこのような状態になりました。(上)

本館特別1・2室 企画展示

「新たな国宝・重要文化財 平成22年 新指定国宝・重要文化財」

4月27日(火)～5月9日(日)

平成22年(2010)、文化史的・学術的に特に重要なものとして国が新たに国宝・重要文化財に指定した作品の一部を紹介します。

(主催:文化庁、東京国立博物館)

本館特別1・2室 企画展示

特集陳列「平成21年度新収品」

5月18日(火)～6月13日(日)

購入・寄贈により新しく当館の収蔵品となった文化財をお披露目します。

展示作品の詳細は次号でお伝えします。

平成館企画展示室

特集陳列「海外の日本の美術品の修復」

5月11日(火)～5月23日(日)

東京文化財研究所で行っている在外日本古美術品保存修復事業により修復を行った美術品を展示します。(主催:東京文化財研究所、東京国立博物館)



本館3室 禅と水墨画

衣文線と淡墨による暈しに注目

重文 文殊菩薩像

4月20日(火)～5月30日(日)

霊彩は十五世紀中頃を中心にした活躍した画家で、京都の東福寺で活躍した明兆に学んだと伝えられています。霊彩は独特の衣文線と繊細な淡墨による暈しを用いて、水墨の道釈人物画に独自の画風を切り開きました。本図でも、左足のあたりの衣に用いられたモクモクした雲のような線、天衣に見られる打ち込みの強い衣文線、文殊と獅子の毛髪を描く流麗な線に、霊彩の特質が認められます。また文殊の衣や獅子の毛髪に精細な金泥線が添えられ、獅子の右下には金泥による「霊彩筆」の落款があります。(救仁郷秀明)

◎文殊菩薩像(部分) 霊彩筆 龍岡真主賛 室町時代15世紀 切れ味鋭い線の魔力



本館4室 茶の湯の美術

姿・肌・文様 すべてが美しい

重文 浜松図真形釜

芦屋

3月2日(火)～5月23日(日)



◎浜松図真形釜 芦屋 室町時代・15世紀
茶の湯釜の産地として有名な芦屋を代表する釜

ふつくとした形で、きめ細やかで光沢のある黒褐色の肌に、浅い篋押しにより霰によって州浜を表わし、そこに屈曲の多い幹や枝ぶりの松林を薄肉に陽鑄しています。筑前国の遠賀郡芦屋(福岡県芦屋町)で製作された芦屋釜は、室町時代には「鐘子は芦屋」といわれたほど、京をはじめ畿内の公家や武家、杜寺の間で賞用されました。芦屋釜は、真形と呼ばれる端正な姿、滑らかで光沢のある肌合、そして優雅な文様を表わすことが特徴としてあげられますが、この釜はそうした特徴をすべて備えていて、しかも出来が優れています。芦屋釜で浜松の風景を描いたものは、十点近く現存しており、芦屋釜ではもっとも好まれた文様といえます。(原田一敏)

平成館考古展示室

最新技術がもたらした新発見!

重文 三角縁同向式神獸鏡

高崎市・蟹沢古墳出土

6月6日(日)まで



◎三角縁同向式神獸鏡 群馬県高崎市蟹沢古墳出土 古墳時代・4世紀
正始元年(240)在銘 五十嵐勘衛氏・根岸森三郎氏寄贈 紀年銘が入った鏡は古代史の重要な鍵です

中国製の紀年銘鏡は、遺物・遺跡の年代がどこまで逆上るかを示す重要な資料です。十二面の国内出土例は青龍三年(二三五)から赤烏七年(二四四)の十年間に集中するため、邪馬台国女王卑弥呼が中国・魏(二二〇～二七五)の皇帝から下賜された銅鏡百枚との関係が注目されてきました。特にこの鏡は日本列島だけで出土する三角縁神獸鏡の最古の一群です。
この度この鏡と同じ型(同範)で造ったと考えられる鏡の破片が、奈良県桜井茶臼山古墳から出土した約八十面の鏡に含まれることが発表されました。銘文の「是」の文字が、当館と奈良県立橿原考古学研究所による共同研究の三次元計測調査で字体の立体形状まで一致することがわかったのです。
近年飛躍的に向上した遺跡調査と遺物調査の最新技術がもたらした成果といえます。(古谷毅)

本館7室 屏風と襖絵

写生とデザインの融合

重文 孔雀立葵図屏風

4月6日(火)～5月16日(日)



◎孔雀立葵図屏風 尾形光琳筆
江戸時代・18世紀 個人蔵
紅白の立葵を描いた二隻と対になります。元は、九条家に伝来した衝立の表裏に配されていました

琳派の画家光琳という、色面が響き合うデザイン化された作品を思い浮かべることでしよう。ところがここに描かれた孔雀は、羽根を細かに描きこんだ写生的描写の鳥です。光琳の息子が養子に行った小西家に伝わった「小西家旧蔵光琳関係資料」の中に、「鳥獸写生図」があり、そこにも真横向きの孔雀が描かれています。円形に羽根を広げた孔雀とそれを包むような岩、大胆に枝を下ろす梅の取り合わせ。よく見ると孔雀の羽根は、動いているように見えます。写生とデザインの組み合わせが不思議な作品です。さらにこれにまつすぐに立つ立葵図とで一双をなしていることに驚きを覚えます。(田沢裕賀)

本館8室 書画の展開

明るい色の響き合い

四季花鳥図巻

酒井抱一筆

4月6日(火)～5月16日(日)



四季花鳥図巻 巻上(部分) 酒井抱一筆 江戸時代・文化15年(1818)
春夏、秋冬で2巻の絵巻のうち今回は春夏の巻の展示です

酒井抱一は、姫路藩主の次男に生まれました。この作品はその出目を表すかのような自由さにあふれた明るく色彩豊かな作品です。糸桜の向こうで飛び交う燕は、光琳以来の琳派というよりも、瀟洒で詩的な京都の四条派を思わせます。写生の目を持って描かれた鳥や花ですが、葉の花や藤、ゆらりと動いた芥子などは人工的な動きを宿しています。何よりも絵の具そのものの美しさ、色の響き合いにより、抱一の世界が展開しています。抱一は、月の光を感じさせる情趣溢れた秋草図をよく描きましたが、それは別の一面をこの作品に見ることが出来ます。(田沢裕賀)

PART 1 知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

「文化財と科学をとりもつ仕事」

日時: 4月10日(土) 13:30~15:00

会場: 平成館大講堂

定員: 380名(先着順) 聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

講師: 荒木臣紀(当館環境保存室主任研究員)

国際博物館の日 記念事業

「東京国立博物館本館—モザイク装飾を読み解く」

日時: 5月15日(土) 13:30~15:00

会場: 平成館大講堂

定員: 380名(先着順) 聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

講師: 坂井基樹氏(坂井編集企画事務所)、久住有生氏(左官工)、後藤泰男氏(INAX ミュージウム活動推進室室長/ものづくり工房室長)

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

「温湿度を読む」

日時: 4月6日(火) 14:00~14:30 本館17室

講師: 和田浩(環境保存室主任研究員)

博物館環境に大きく影響する温度と湿度の読み方や評価手法を解説します。

「駿河国図の修理について」

日時: 4月13日(火) 14:00~14:30 平成館企画展示室

講師: 荒木臣紀(環境保存室主任研究員)

修理作業工程や技術者が考えたこと、気をつけたことについてお話します。

「十六羅漢像の修理について」

日時: 4月20日(火) 14:00~14:30 平成館企画展示室

講師: 鈴木晴彦(保存修復室アシリエイトフェロー)

修理技術者の視点から、本作品の修理について具体的にお話します。

「やきものの修復について」

日時: 4月23日(金) 14:00~14:30 平成館企画展示室

講師: 三笠景子(保存修復室研究員)

やきものの修理技術者・薮山隆司氏にお話をうかがいながら解説します。

「古文書から見た中世細川家の領国支配」

日時: 4月27日(火) 14:00~14:30 本館20室

講師: 高梨真行(ボランティア室主任研究員)

細川氏の支配の仕組みに迫ります。

「古筆における伝統と創造(世尊寺家の古筆から)」

日時: 5月11日(火) 14:00~14:30 本館20室

講師: 島谷弘幸(学芸研究部長)

平安時代中期の和様の大成者、藤原行成を祖とする世尊寺流の書について解説します。

「“古九谷様式”の位相

日時: 5月18日(火) 14:00~14:30 本館20室

講師: 今井敦(東洋室長)

“古九谷様式”とよばれる日本の初期の色絵磁器に影響を及ぼした中国の五彩磁器、そして“古九谷様式”が打ち出した創意について解説します。

「国宝 十六羅漢像について」

日時: 5月25日(火) 14:00~14:30 本館20室

講師: 沖松健次郎(特別展室主任研究員)

表現・技法を中心に、鑑賞の手引きとなるような、この作品の魅力についてお話しします。

上野三館園連携事業

国際博物館の日 記念事業

「上野の山でツルめぐり」

2006年度から、国際博物館の日を記念して恩賜上野動物園、国立科学博物館、そして東京国立博物館の3館園でひとつのテーマをめぐるツアーを毎年開催しています。今年度のテーマは「ツル」。それぞれの館園の切り口からさまざまなアプローチを行い、博物館や動物園の新しい楽しみ方を提案します。博物館と動物園とが一箇所に集まっている上野だからこそできるユニークな企画です。

日時: 5月23日(日) 9:15~14:20

会場: 恩賜上野動物園 国立科学博物館 東京国立博物館

対象: 中学生以上30名(事前申込制)

なお、応募数が定員を上回った場合は抽選で決定(抽選時には、15名まで中・高生を優先扱いとします)

参加費: 1,000円(資料代、昼食代、飲み物代込み)

*「上野のれん会」加盟レストランの協力により特製弁当を準備します。

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に ①行事の名称「上野の山でツルめぐり」 ②参加者の氏名(フリガナ) ③職業/学年・年齢 ④住所 ⑤電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込みください。

*1枚のはがきで、2名までお申込みいただけます。

*2名の場合はそれぞれ氏名をお書きください。

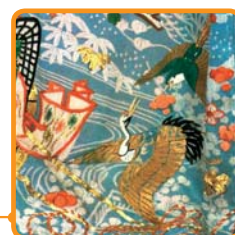
申込先: 〒110-8711 台東区上野公園

9-83 恩賜上野動物園 教育普及係「上野の山でツルめぐり」係

お問い合わせ: TEL 03-3828-5171

*当日、取材が入る場合がありますので、ご了承ください。

締切: 5月6日(木)当日消印有効



おめでたい模様をちりばめた着物。
よく見るとツルの姿が……



*申込みに際していただいた個人情報につきましては、該当事業にのみ使用し、終了後は速やかに破棄します。

PART
2

五感を使った美術体験 ワークショップ

*当落に関らず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の連絡がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話(03-3822-1111(代))でお問い合わせください。

ファミリーワークショップ

「家族で作る博物図譜(昔の図鑑)」

特集陳列「博物図譜 桜を中心に」(3月9日(火)～4月25日(日)本館16室)に展示される図譜を参考に、家族で力をあわせて、オリジナル「博物図譜」を作ってみませんか? 博物館の作品の中には、花や鳥、魚などの生き物がいっぱい。テーマを決めたら、展示室をめぐる、作品探し。じっくり観察して、むかし風の和とじの図鑑に仕上げてみましょう。

日時: ①4月24日(土) 10:00～12:30

②4月25日(日) 10:00～12:30

会場: 平成館小講堂

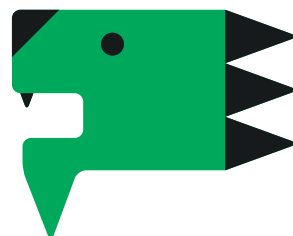
対象: 小学生とご家族

定員: 各日 10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)



教育普及
事業!!



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

締切: 5月10日(月)必着

*締切の後、参加券をお送りします。
なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。



PART
3

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

こどもたちのアートスタジオ

「勾玉作り」

平成館考古展示室内にある勾玉を見学した後、滑石を加工して勾玉を制作します。

日時: 5月30日(日) 13:30～15:30

会場: 平成館小講堂

対象: 小学校3年生から高校生

*保護者の方の見学も可能です(ただし当日の入館料は必要)

定員: 10名程度

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に、日程「勾玉作り 5/30」と郵便番号・住所・参加される方のお名前(ふりがな)・学年・電話番号・保護者が一緒の場合はその人数、「返信用表面」に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込ください。

申込先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室



INFORMATION

イベント開催のお知らせ

◆上野ミュージアムウィーク
—「国際博物館の日」記念事業2010—

国際博物館の日(5月18日(火))を記念して、5月8日(土)～23日(日)の期間、上野の博物館・美術館などの各文化施設や商店ではさまざまなイベントを開催します。東京国立博物館では、5月18日を平常展無料観覧日とするほか、講演会、博物館・動物園セミナーをはじめ、博物館ガイドダンスも開催。講演会とセミナーについては、本誌12ページをご覧ください。

公式サイト: <http://www.ueno-mw.com>

●無料観覧日(平常展のみ)

5月18日(火)終日

●東京国立博物館へようこそ —博物館と今日のみどころ紹介—

展示をより楽しんでいただくためのみどころを、画像で紹介します。

5月16日(日) ①10:00～10:30 ②13:00～13:30 ①②は同内容

会場: 本館20室(先着50名 直接会場にお集まりください)

◆休館のお知らせ

6月22日(火)は、電気設備等保守点検のため、臨時休館いたします。

◆春の庭園開放

3月13日(土)～4月18日(日)は恒例となりました、春の庭園開放を行います。3月末から4月上旬にかけてはさまざまな種類の桜が咲き競います。詳細は本誌4～5ページ「博物館でお花見を」をご参照ください。庭園入口は、レストラン ラ・コール脇にあります。



エドヒガンシダレザクラと茶室「春草廬」

10:00～16:00、入園無料(ただし入館料は必要)。荒天により中止となることもありますのでご注意ください。

◆「誕生! 中国文明」展 招待券プレゼント

本誌7ページで紹介した「誕生! 中国文明」展(7月6日(火)～9月5日(日))の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は5月18日(火)必着。

※プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース4・5月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員 2010年2月20日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社毎日新聞社 様
株式会社大林組東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様

株式会社ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様

維持会員 団体

東京電力株式会社 様
株式会社東京放送 様
株式会社三冷社 様
株式会社東京美術 様
株式会社鶴屋吉信 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様

株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 古美術数本 様
日本ハーデス株式会社 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様

インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
公和図書 株式会社 様
株式会社 小西美術工芸社 様

維持会員

木村 則子 様
早乙女 節子 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
数内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
櫛田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様

観世 あすか 様
星埜 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
鷲塚 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
田村 久雄 様
高橋 徹 様

柴田 陸子 様
網村 安代 様
高橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
野澤 智子 様
有賀 浩治 様

吉田 幸弘 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様
秦 芳彦 様
杉原 健 様
木谷 麒巳郎 様
鏡 賢志 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 浩子 様
汐崎 ツ正 様
堤 勝代 様
山下 由紀子 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋静雄 様
田中 千秋 様
小西 峰也 様
澁谷 洋志 様
清川 勉 様

山下 照夫 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
明珍 素也 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
鈴木 宗鶴 様
折越 卓哉 様
渡辺 恭昌 様
安田 和正 様
平野 京子 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
武藤 剛志 様
秋元 文子 様

土師 昭三 様
上塚 建次 様
村木 久晃 様
高久 真佐子 様
小川 春夫 様
平山 利恵 様
陶山 哲夫 様
井出 雪絵 様
佐藤 禎一 様
岡本 恭子 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
眞中 富士男 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様

(ほか42名1社、順不同)

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費

●特別会員 100万円以上 ●維持会員 法人 20万円 個人 5万円

主な特典

●特別展の内覧会にご招待 ●東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ 東京国立博物館総務部 賛助会担当 TEL 03-3822-1111 (代)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで

〈郵便振替でのお申し込み〉

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

*振替手数料はお客様の負担となります

*ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号00140-1-668060

*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◆お問い合わせ

TEL 03-3822-1111 (代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101

*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

*振替手数料はお客様のご負担となります

*次号より送付ご希望の場合、締切は2010年5月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30~17:00

2010年12月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2010年4月~9月の土日祝休日、および10月~12月の特別展開催期間中の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)。

休館日

原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(12月27日(月)~2011年1月1日(土))、2010年6月22日(火)は臨時休館
2010年5月4日(火・祝)、8月16日(月)、11月8日(月)、11月15日(月)は開館

平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

*満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

[16ページのカレンダー内 *1~*10]

- *1 有料イベントです。詳細は前号14ページまたは当館ホームページをご覧ください
- *2 無料イベントです。詳細は前号14ページまたは当館ホームページをご覧ください
- *3 「博物館でお花見を」関連事業、桜コンサートは無料イベント、桜セミナーは事前申込制。詳細は本誌5ページをご覧ください
- *4 有料イベントです。詳細は前号14ページまたは当館ホームページをご覧ください
- *5 整理券配布はありません。会場となる庭園内茶室応挙館へ直接お越しください

- *6 詳細は本誌12ページをご覧ください
- *7 4/17、5/15は手話通訳付きです
- *8 特別展「細川家の至宝」関連事業、事前申込制。詳細は本誌2ページおよび前号7ページ、または当館ホームページをご覧ください
- *9 事前申込制。詳細は本誌13ページをご覧ください
- *10 「国際博物館の日」関連事業。「上野の山でツルめぐり」は事前申込制。詳細は本誌12ページ、または14ページをご覧ください

TOPICS

◆本館特別5室

「仏像の道——インドから日本へ」

3月24日(水)再オープン

「国宝土偶展」開催のために、一時的に休止していた特集陳列「仏像の道——インドから日本へ」が再開します。

仏教は紀元前五世紀頃にインドで興りました。実際に仏像が造られるようになるのは紀元後一世紀になってからです。仏教はアジア各地に広まり、それとともに特色ある仏像が造られました。この展示は、インドで誕生した仏像が、中央アジア、中国、朝鮮半島を経て日本へ伝わる流れをたどるもので、それぞれの地域で造られた仏像二十一件から構成されています。その姿や形の違いを比較しながら、日本に仏像が伝わるまでの壮大な流れを鑑賞ください。

この展示を通して、本館や法隆寺宝物館に展示されている日本の仏像や現在表慶館(アジアギャラリー)に展示されて

いる東洋の仏像の理解がさらに深まってくるのではないかと思います。(岩佐光晴)



如来坐像(部分) パキスタン、ガンダーラ クシャーナ朝・2世紀
顔立ちや衣の表現にはギリシア・ローマ彫刻の影響がうかがえます



如来坐像(部分) 日本 飛鳥時代・7世紀
同じ如来像でも、ガンダーラの像とはその表現がだいぶ異なります

◆TNM&TOPPANミュージアムシアター上演作品のお知らせ

VR作品「興福寺 阿修羅像

〜奇跡の仏像〜」公開

4月2日(金)・6月27日(日)の金土・日・祝・振替休日

10時、11時、12時、14時、15時、16時上演
各回30名

興福寺に今も安置される国宝「阿修羅像」が、なぜ現代に生きる私たちを魅了し続けるのか。

憂いを含む少年のような阿修羅像の表情をとらえたVR映像とナビゲータの解説で、阿修羅像造像を発願した光明皇后が込めた想いと、それを護り続けた人々の想いに迫ります。

*当日予約制 本館エントランスにて受付



VR作品「興福寺 阿修羅像
〜奇跡の仏像〜」より

◆MUSEUM 624号

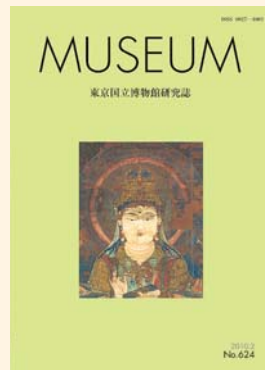
(2010年2月15日発行)の掲載論文

①「新疆出土の三種の壁画漢字経文断簡について——東京国立博物館所蔵の大谷コレクションより——」三島貴雄(京都国立博物館総務課)

②「平安時代末期から鎌倉時代中期の天冠台形式について——奈良仏師・慶派仏師作例を中心に——」佐々木あすか(東京芸術大学大学院)

③「『資料紹介』高野山天野社伝来の還城楽面」岩田茂樹(奈良国立博物館学芸部長補佐)

「表紙解説 般若菩薩像」沖松健次郎(当館特別展室主任研究員)



◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

没後400年 特別展覧会「長谷川等伯」4月10日(土)~5月9日(日)

〈奈良国立博物館〉

平城遷都1300年記念「大遣唐使展」4月3日(土)~6月20日(日)

〈九州国立博物館〉

日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念「パリに咲いた古伊万里の華」4月6日(火)~6月13日(日)

2010年
4月

東京国立博物館2010年4月・5月の展示・催し物

2010年
5月

1 THU	📺 ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.5 佐藤俊介(ヴァイオリン) 19:00 法隆寺宝物館エントランスホール*1 📺 11:00, 14:30 📺 14:00
2 FRI	桜セミナー「桜で一句」15:00 平成館大講堂*3 📺 ミュージアム・コンサート ヴァーヴ! サクソフォーン・クワルテット 11:00 本館エントランスホール*2 📺 桜コンサート 14:00, 16:00 法隆寺宝物館*3 📺 15:00
3 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 桜コンサート 14:00, 16:00 法隆寺宝物館*3 📺 11:00, 14:30 📺 11:00 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00
4 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 瀬崎明日香 桜コンサート 15:00 平成館ラウンジ*4 📺 12:00*5 📺 14:00 📺 14:30
5 MON	休館日
6 TUE	📺 列品解説「温湿度を読む」14:00 本館17室 📺 ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.6 佐藤俊介(ヴァイオリン) 19:00 法隆寺宝物館エントランスホール*1 📺 11:00, 14:30 📺 15:00
7 WED	鑑賞ガイド 国宝「花下遊楽図屏風」14:00 本館20室*3 📺 列品解説「屏風に咲く桜」15:00 本館2室*3
8 THU	📺 11:00, 14:30 📺 14:00 📺 14:00 📺 14:30
9 FRI	📺 桜コンサート 14:00, 16:00 法隆寺宝物館*3 📺 14:30
10 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 月例講演会「文化財と科学をとりつづける」13:30 平成館大講堂*6 📺 桜コンサート 14:00, 16:00 法隆寺宝物館*3 📺 11:00, 14:30 📺 14:00 📺 14:30
11 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 14:00 📺 14:30 📺 博物館でお花見を
12 MON	休館日
13 TUE	📺 列品解説「駿河国図の修理について」14:00 平成館企画展示室 📺 11:00, 14:30
14 WED	📺 14:30
15 THU	📺 11:00, 14:30 📺 14:00 📺 14:30
16 FRI	📺 15:00
17 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 📺 11:00*7 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00
18 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 12:30, 14:00 📺 春の庭園開放
19 MON	休館日
20 TUE	📺 列品解説「十六羅漢像の修理について」14:00 平成館企画展示室 📺 15:00 「細川家の至宝」
21 WED	
22 THU	📺 14:00 📺 14:30
23 FRI	📺 夜間開館(20:00まで) 📺 列品解説「やきものの修復について」14:00 平成館企画展示室 📺 14:30
24 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 記念講演会「細川家 美と戦いの700年」13:30 平成館大講堂*8 📺 ファミリーワークショップ「家族で作る博物図譜(昔の図鑑)」10:00 平成館小講堂*9 📺 14:00 📺 14:30
25 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 ファミリーワークショップ「家族で作る博物図譜(昔の図鑑)」 10:00 平成館小講堂*9 📺 11:00 📺 14:00 📺 14:00 📺 14:30
26 MON	休館日
27 TUE	📺 列品解説「古文書から見た中世細川家の領国支配」14:00 本館20室
28 WED	📺 14:00 📺 14:30
29 THU	時間延長(18:00まで) 📺
30 FRI	📺 夜間開館(20:00まで)

📺 =ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによる陶磁エリヤガイド、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口

📺 =ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス

📺 =ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによるたのみの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス

📺 =ボランティアによる茶会、集合場所：本館1階エントランス
(参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

📺 =ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス
(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

1 SAT	時間延長(18:00まで) 📺
2 SUN	時間延長(18:00まで) 📺
3 MON	時間延長(18:00まで) 📺
4 TUE	時間延長(18:00まで) 📺
5 WED	時間延長(18:00まで) 📺
6 THU	📺 14:00
7 FRI	📺 夜間開館(20:00まで)
8 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 📺 14:00 📺 14:30 📺
9 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 14:00 📺 14:30 📺
10 MON	休館日
11 TUE	📺 列品解説「古筆における伝統と創造(世尊寺家の古筆から)」 14:00 本館20室
12 WED	📺 14:30
13 THU	📺 14:00 📺 14:00 📺 14:30
14 FRI	📺 夜間開館(20:00まで) 📺 14:30 📺
15 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 月例講演会「東京国立博物館本館—モザイク装飾を読み 解く」13:30 平成館大講堂*10 📺 11:00*7 📺 13:30 📺 14:00 📺 15:00
16 SUN	時間延長(18:00まで) 「東京国立博物館へようこそ—博物館と今日の みどころ紹介—」10:00, 13:00 本館20室*10 📺 12:30, 14:00
17 MON	休館日
18 TUE	📺 国際博物館の日 平常展無料観覧日 📺 列品解説「“古九谷様式”の位相」14:00 本館20室 📺 15:00
19 WED	
20 THU	📺 14:00 📺 14:30
21 FRI	📺 夜間開館(20:00まで) 📺 15:00 📺
22 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 📺 14:00 📺 14:30 📺
23 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 11:00 📺 14:00 📺 14:00 📺 14:30 📺 博物館・動物園セミナー「上野の山でツルめぐり」*10
24 MON	休館日
25 TUE	📺 列品解説「国宝 十六羅漢像について」14:00 本館20室
26 WED	📺 14:00 📺 14:30
27 THU	📺 14:00 📺 14:30
28 FRI	📺 夜間開館(20:00まで) 📺 14:30 📺
29 SAT	時間延長(18:00まで) 📺 記念講演会「細川護立と日本の近代美術(仮)」 13:30 平成館大講堂*8 📺 11:00 📺 14:00
30 SUN	時間延長(18:00まで) 📺 13:30 📺 14:00 📺
31 MON	休館日

📺 =ボランティアによるガイドツアー「東博桜めぐり」、集合場所：本館1階エントランス、詳細は
本誌5ページをご覧ください

📺 =応挙館茶会「花見で一服」(呈茶式)、集合場所：庭園内応挙館(参加費500円、先着
300名、12:00～15:00)、詳細は本誌5ページをご覧ください

📺 =ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(勾玉作りコース、事前予約制、先着10名)
詳細は本誌13ページをご覧ください

📺 =黒田記念館開館日、木曜・土曜13:00～16:00

📺 =ミュージアムシアター「興福寺 阿修羅像」10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00
各回30名、集合場所：本館1階エントランス(詳細は本誌15ページをご覧ください)

*1～*10は、本誌15ページをご参照ください。*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。